

令和3年度使用中学校教科用図書の採択結果

行田市教育委員会

種目名	発行者	主な採択理由
国語	光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きに1年間の学習の見通しが整理されており、「思考の地図」には、課題を解決したり考えを深めたりするための思考法が複数紹介されている。巻末に各領域や情報の扱い方についての資料が図式化され、社会生活に活用できるように整理されている。 ・各学年に「情報社会を生きる」を特設したり、「情報整理のレッスン」でテーマごとに解説したりして情報を活用する力を高める工夫がされている。
書写	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに「目標」を示している。また、「目標」を意識しての「試し書き」や書き込み式の確認箇所を設け、字形を確認し文字のバランスを身につけさせるようになっている。 ・各学年の取組において段階を追って章立て、学習者にねらいを意識しながら取り組ませるように構成している。また、教科書に学習のポイントや気づいたこと、まとめや応用を書かせる欄を設け、課題を意識し考えながら習得させるように構成している。
社会 (地理・歴史・公民)	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもたせる工夫として、章及び節を貫く課題が提示されている。また、それに迫るための1単位時間の学習課題も提示されており、章全体で、課題解決学習ができるような教科書構成になっている。 (地理的分野) ・他分野や社会以外の様々な教科でも取り扱っている学習内容には、マークを付すことで、他教科との連携を通して、社会的事象や現代的な諸課題をより深く理解できるように工夫されている。(歴史的分野) ・生徒の興味・関心の喚起や思考力・判断力・表現力の育成を目指した学習活動が数多く示されており、生徒の身近なことを学習活動のテーマとしている。 (公民的分野)
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の特色を具体的に読み取れるよう「一般図」→「資料図」という配列で構成されている。さらに、表現も平面の地図表現に加え、鳥瞰表現が多用され、内容が焦点化されて理解しやすくなっている。 ・地図帳を活用する方法や地形図を読み取るための具体的な手順を示し、地図帳活用の技能や地形図の読図力を身につけられるよう配慮している。

数 学	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・一問一答式ではなく、記述式の問題に多く取り組ませることで、数理的に考察する経験を多く積むことができる。その経験から、数学的な思考力や表現力が高められるように構成されている。 ・巻末の「『深い学び』をふり返ろう」のページでは、数学的な見方・考え方について再確認する場を設けており、PDCAサイクルの過程に触れることで、数学的にもものごとをとらえる能力を高めることができる。
理 科	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「これまでに学んだこと」で既習事項を確認し、単元ごとの「学習内容の整理」で重要語句などを復習し、「章末」問題や「確かめと応用」で繰り返し学習できるようになっている。 ・「学んだことをつなげよう」では章で学習したこと全体を結びつけて考えるようにしてあり、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。
音 楽 (一般・器楽)	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞、作曲家、狂言師等のインタビューやメッセージを掲載し、生命の尊さや自然の大切さ、我が国の伝統文化を尊重する態度が養えるように工夫されている。(一般) ・歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるように工夫されている。(器楽)
美 術	開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた系統的な題材で1～3学年の流れを構築しており、領域(表現・鑑賞)・内容(絵や彫刻など、デザインや工芸など)別に順序立てたコンテンツとなっている。 ・題材ごとのページで用具・材料・技法を図版・写真で示し、表示・マーク等で注釈し、さらに巻末資料で手順などを加えて詳細をまとめ、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くよう工夫されている。
保健体育	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」から「広げる」まで明記されており、授業の流れを視覚的にわかるようにすることで、生徒も見通しをもって主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ・文章、イラスト、写真、資料のバランスがよい。章末資料では学習した知識をさらに発展させることができ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身につけることができる内容になっている。
技 術・家 庭 (技術・家庭分野)	開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容ともに「技術・技能の基礎・基本」、「問題発見、計画立案、活動の評価・改善」、「技術の評価・活用」のまとまりで構成され、学習内容の把握から学習後の振り返りまで見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。(技術分野) ・「調理方法Q&A」や「製作の基礎・基本」を掲載する等、基礎的・基本的な知識・技能を確認しながら実習の中で習得できるようになっている。(家庭分野)

<p>外国語（英語）</p>	<p>光村図書出版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムや絵文字を取り入れる等、生徒の興味・関心を引くような構成である。また、生徒にとって共感しやすい本文の内容となっている。巻末の単語にマークが付してある等、小学校の既習事項がわかるような工夫があり、無理のない小中の接続ができる。 ・使用場面が学校生活、旅行、ALTの先生の国のことなど、生徒の身近に起こりうる自然な設定になっており、会話がイメージしやすい。日記やメール、紹介文やインタビュー、記事など様々な形式が用意されている。
<p>特別の教科 道徳</p>	<p>学研教育みらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えを深める4つのステップ」で、生徒が自ら問いを見つけ、課題や問題に対して主体的に向き合える構成となっている。 ・ユニット学習や、特設ページ「クローズアッププラス」での学習により、物事を多面的・多角的に考え、多様な学びができるようになっている。